

突発!!

ミーハー'95 インタビュー

辛口ゲーム批評で評判の

高木ブー氏に

「バーチャルボンバーマン」と
「とびだせ／ぱにボン」をプレイしてもらった!!

ザ・ドリフターズの高木ブー氏のボンバーマン好きは、業界でも有名。そこで／バーチャルボーイのボンバーマンシリーズをハドソンで遊んでもらって感想を聞いてみたぞ!!



▲VBは、外から画面が見えないから、アドバースするダルダニアンも大変なのだ!!

ダルダニアン：（以下ダ）初めまして／まさか本当にこの企画が実現するとは思ってませんでした。

高木ブー氏：（以下ブ）新しいボンバーマンをプレイできるなら、どこへでもうかがいますよ（笑）。

ダ：では、まず「バーチャルボンバーマン」から遊んでもらいましょう。

ブ：これをのぞきながらプレイするのは／ああ／なるほど、いわゆるボンバーマンと同じタイプのゲームが立体に観えるわけね。へ～え／雰囲気はすごくいいね。まんなかの橋とかうかんでみえるし、ほかにも立体物のくふうがいっぱいあるね。

ダ：それでは次は、「とびだせ／ぱにボン」をいってみましょう／

ブ：これはボンバーマンのキャラをつかった落ち物のパズルだね。このタイプのゲームは、すいぶん遊んだけど、ついクセになるよね。ヨッ／ハッ／トッ／／ ……………（30分経過）

ダ：…あ、あのお。

ブ：あっ／つい夢中になって（笑）。大きなバクダンとか迫力あるね。

ブ：いやあ／どちらのボンバーマンもよくできてるね／惜しいのは黒赤の2色しかないのと、画面が小さいことぐらい。でも、これはハードの問題だからしょうがないけどね。

ダ：「バーチャルボンバーマン」は、まだ開発中で、完成 じゃないんですが、楽しんでもらえてうれしいっす。どーもおつかれさまでした。さ、それでは、このままつづけて、なだれ式にインタビューに突入!!



▲「バーチャルボンバーマン」「とびだせ／ぱにボン」をプレイして、ご満悦のブー氏。



▲8月11日現在の開発画面の「バーチャルボンバーマン」。ブー氏の観てるのはコレだ／

●なぜ名前が「高木ブー」なんですか？

ダ：これは、僕が産れたときからの疑問なんです／いったいなぜですか。

ブ：別にデブだからってわけじゃなくてね(笑)。これは、大先輩のクレイジーキャッツの、ハナ肇さんに、つけてもらったんです。「おまえら普通の名前じゃつまらんから、おれが芸名つけてやる！」ってね。

●ドリフのコントをすべて
高木さんが考えるって本当？

ブ: そんなことはありませんよ(笑)、それは単なるウワサです。本当は、みんなでアイディア出しあって、イカリヤ長介がまとめてたんですよ。



▶今年はトリフ結成30周年。このパンフに使われた写真は30年前のものなんだ!!



●バンドとしての
ドリフターズで高木さん
が担当したのは？

ブ：みんな知らないかもしれないけど、ドリフはもともとミュージシャンのグループで、僕はギター。荒井注がキーボード、イカリヤがベース、中本工事がリードギター、加藤茶がドラム。志村がまだいないんですよ。

●初めて遊んだテレビゲームはなんですか？

ブ: もちろんボンバーマンノってのはウソで、やっぱりインベーダーかな? 僕、むかしから早稲田に住んでて、学生街だからゲームセンターも多くて、インベーダーはよく遊んだなァ。コントでも使ったしね。

タ:「こんなゲームで遊びたい/」
なんてのは、ありますか?

ブ：そーだねえ。カラーのバーチャルボーイみたいなので、全身囲われてるので遊んでみたいよね。

ダ：今日は、ありがとうございました。

高木ブー氏のサイン入りソフトを 4名さまにプレゼント

「スーパーボンバーマン」「スーパーボンバーマン2」「スーパーボンバーマン3」「とひだせ／ばにボン」に、それぞれ高本ブー氏のサインを入れて各1名、全4名にプレゼント。希望者は、インタビューの感想と、どのソフトがほしいかを書いてP27の住所で「ふーちゃんのサイン」係まで。



▲僕らが生まれる前からスターだった高木ブー氏が、目の前でサインしてくれているわけだ。まるで夢のよう！



▲こちらは好評発売中の「とびだせ／ばにボン」。早行視で立体に見える／（はず）

Monthly Humor & Quizzes Magazine

HUMOR NETWORK



HUMOR NETWORK

